

新潟民商

新潟民主商工会
新潟市中央区沼垂西3丁目10-14
電話 (243) 0141

16年2月29日

国は箱（マイナンバー）だけつくって

あとはそれぞれ対応しろという姿勢だ（信金）

一七日民商県連はマイナンバーについて新潟信金と懇談しました。渡部睦夫県連会長の他、高橋士郎新潟民商副会長が参加しました。

信金の総務部・統括部からマイナンバーの提示の必要な銀行手続きについて「融資の申込には番号は必要ない」「申告書の控えに番号が記載されている場合は、番号を黒塗りしてコピーする」と説明がありました。また二〇一八年からの預金口座への個人番号の適用については「まだ何も指示がない」「口座と個人番号をヒモ付けする意図が分からない」「金融機関にとっては、マイナンバーは手間とリスクだけ増えてメリットはなにもない」と怒っていました。マル優の扱いについて民商の交渉結果と違う説明を受けている！？

マル優の取り扱いについて全商連の政府交渉では内閣府は「既存のマル優について改めて番号を取得することはしない」と回答していることを話すと、信金は「全国信用金庫協会からの情報と違う」と戸惑い。「国は箱だけつくって、中身はそれぞれ対応しろと言う」「事項によって所管が違うし、統一した方針を出して欲しい」としました。

日銀のマイナス金利で 景気がよくなるわけがない

信金の日銀のマイナス金利政策より、地域にお金がまわるようにすることが大事との意見でした。

マイナンバー延期・廃止署名をすすめましょう

日程

三月一日 理事会

三月八日 国際女性デー

三月十一日 重税反対全国統一行動

BRT署名六万六一四一筆提出

住民投票条例制定の声を議員に働きかけよう

BRT連節バスの住民投票の実施を求める署名に有権者の一〇分の一の市民から協力が寄せられました。二月の定例市議会で審議され、実施するかどうか決まりました。市長と市議会・議員の姿勢が問われます。知合いの市会議員に働きかけてください。

■もう開業したから意味はないのでは？

BRT計画は、七〇億円の大事業です。これまでにかけたお金は一三億円。今後、専用走行路や連節バスのさらなる購入などで五七億円かかります。BRTにさらに五七億円かけるかどうか、市民の声を聞くべきです。

新潟市二八年度予算案

篠田市政は、BRT推進や駅前開発などに予算をつぎ込む一方、市民の生活や暮らし軽視の予算となっており。私たちの運動で前進したものもあります。

地域商店魅力アップ応援事業継続

商店が行う改装や備品購入に対して、かかった費用の三分の一・上限一〇〇万円を助成する制度が昨年初めて実施されました。民商は説明会を開き、活用した方からは「元気が出た」と喜びの声が出されています。

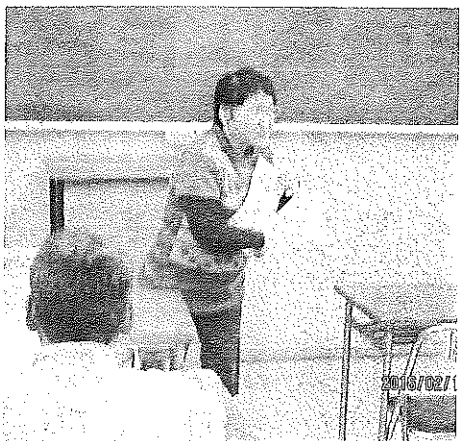
二八年度は七五〇〇万円の予算で継続されます。どんどん利用しましょう。

健幸すまいリフォーム助成・業者の要望無視

住宅リフォームに助成し市民からも業者からも喜ばれていた一番利用しやすい「一般枠」を昨年廃止しました。民商や建築組合などから復活の要望が強く出されています。「工夫してみる」と答えていました。しかし、予算案では復活しないで、子育て世代のリフォームの助成・六〇〇〇万で縮小しての実施の予算案が提出されました。

新婦人部長 大奮闘

◆女池支部◆

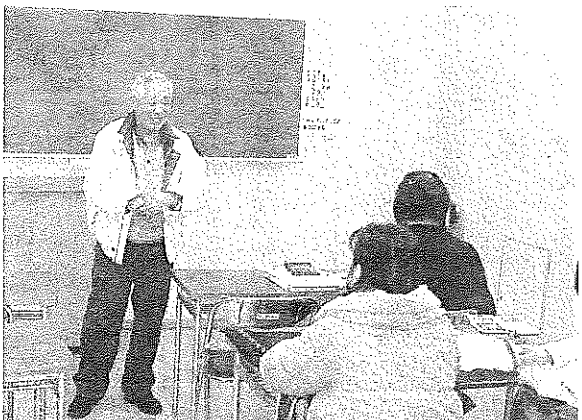


二月一九日(金)鳥屋野地区公民館を会場に女池支部では申告班会を開催し一〇名が参加しました。

島田支部長(クリーニング業)の挨拶が終わってから和合婦人部長(タイル工事業)より今の情勢や、国保・消費税・マ

インバーについて説明が行われ参加者一同聞き入りました。

申告の相談に入る
と島田支部長を先頭に和合婦人部長も対応会員とじっくりと対話を
行い、参加者一同納得のいく申告書をしつかりと完成させていました。



自主計算で現状を知る

西内野支部のYさんは、数年前に前事業主の廃業に伴い事業を引き継ぎ、九名の従業員を抱える事業主です。昨年の確定申告の際、初めて消費税を計算してみても、税額の大きさに驚き青ざめていました。追い打ちをかける様に、夏には来期分の中間納付もあることを知らされ愕然としていました。

後日、今後どうするかの話し合いを行い、青色申告の65万控除を取ろうという事になりました。それから二ヶ月に一度、民商の事務所に通い、なれないパソコンを教わりながら入力し、申告書を完成させました。

入力していく過程で「売り上げがこのままではまずい」と解れば、元請に対し単価アップの交渉をしたり、「修繕費が昨年よりかかっている」と気付けば、従業員に車や道具の扱いを促したりしていたとのこと。自主計算が現状を教えてくれる。自分で気付くから、すぐ対処できる。

みなさんも、月々の自主計算で経営改善を。

高橋会長 大絶賛!

◆南浜支部◆

二月一七日(水)班会に六名参加。五名が女性で長年集団申告に来ており、民商への信頼もお持ちのようでした。殆ど仲間で冗談を言い合いながらすすめ書き込みもめどがついた頃、会長が到着。

会長が名刺を渡すと「へえ、会長さんがねえ(来てくれた)から始まり、武昌の名前に興味心身。申告を自分でする意味や、税務署・権力の話になると「ひどいねえ」一八一万人の富裕層のために二億一千万人の犠牲の話や大企業の輸出戻し税の話に怒っていました。

私たちは仲間で教え合ったり情報を交換しなければ、この小難しい申告書や税務攻撃に対抗できません。とにかく打ち勝つには七月の参院選です。

倉敷と新潟の違いは、組織が大きいこと!保持・拡大が私たちを守る最大の武器!で拡大たまごの話に及ぶと大笑いしていました。雑談では「だれそれに声をかけたことがある...」と、拡大の話に及びました。



江南区・南区 申告完成会

◆亀田支部◆

二月一九日(金)亀田支部で昼・夜の部合わせて二十名が集まりました。会場は亀田市民会館で、相談員として山田支部長と渡部副会長が参加しました。

ほとんどの方が下書きを終えており、中には去年を参考に消費税の計算までしてきた方もいました。前の班会で完成できなかった人も、渡部副会長が一つひとつ教えていき、完成させることができました。人数が集まった所で渡部副会長からパネルや拡大の重要性などの説明をしていただきました。

◆白根支部◆

二月二一日(日)白根支部で午前・午後の部合わせて十八名が集まりました。白根地区センターを会場に支部役員の高橋さんと小野さんが相談員として参加しました。ほとんどの方は所得計算までできており、自主計算への意識は高まってきているようでした。人数が集まった所で高橋さんからパネル説明をしていただきました。